



# 2015年2月期第2四半期

(2014年3月1日～2014年8月31日)

## 決算説明会


「食」創りのすべてを手がけ、「食」を進化させ続けるフード・イノベーター

### わらべや日洋株式会社

(2918)

2014年10月7日





# 2015年2月期第2四半期業績報告 及び2015年2月期業績予想

# 2015年2月期第2四半期連結業績

(単位:百万円)

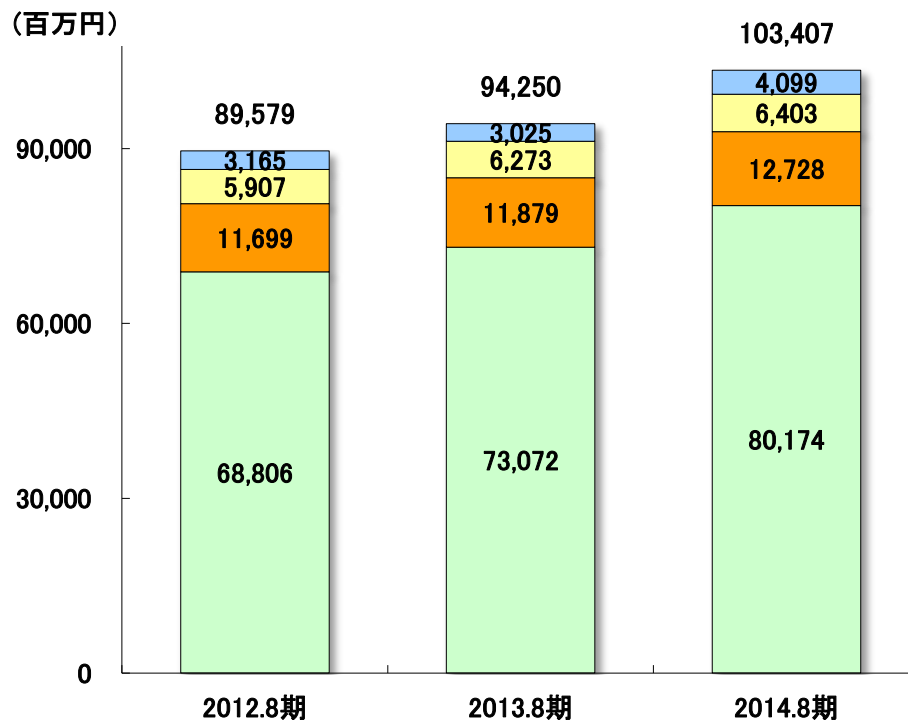
	2013.8期	2014.8期		前年 同期比	予想比
	実績	予想	実績		
売上高	94,250 (100.0)	103,000 (100.0)	<b>103,407</b> (100.0)	9,156 <9.7>	407 <0.4>
営業利益	2,763 (2.9)	3,000 (2.9)	<b>2,744</b> (2.7)	△18 <△0.7>	△255 <△8.5>
経常利益	2,916 (3.1)	3,100 (3.0)	<b>3,019</b> (2.9)	102 <3.5>	△80 <△2.6>
四半期 純利益	1,741 (1.8)	1,850 (1.8)	<b>1,776</b> (1.7)	35 <2.1>	△73 <△3.9>
EPS(円)	98.84	105.03	<b>100.88</b>	2.04	△4.15

\* ( )内は売上比率(%)、<>内は増減率(%)、2014.8期予想は2014年4月11日発表の予想数値

# セグメント別売上高の状況

■食品関連事業 ■食材関連事業 ■物流関連事業 ■その他の事業

(単位:百万円)



	2013.8期	2014.8期	増減
<b>売上高合計</b>	94,250 (100.0)	<b>103,407</b> (100.0)	9,156 <9.7>
食品関連事業	73,072 (77.5)	<b>80,174</b> (77.5)	7,102 <9.7>
食材関連事業	11,879 (12.6)	<b>12,728</b> (12.3)	849 <7.1>
物流関連事業	6,273 (6.7)	<b>6,403</b> (6.2)	130 <2.1>
その他の事業	3,025 (3.2)	<b>4,099</b> (4.0)	1,074 <35.5>

\* ( )内は構成比率(%) <>内は増減率(%)

## 2014.8期 売上高増加の主要因—前年同期比約91億円の増加

- 食品関連事業:約71億円の増加(納品店舗増、「おにぎり」「チルド弁当」売上伸長)
- 食材関連事業:約8億円の増加(水産加工品等の売上伸長)
- 物流関連事業:約1億円の増加(セブン-イレブン向け配送の受託拡大)
- その他の事業:約10億円の増加(食品製造設備事業が好調)

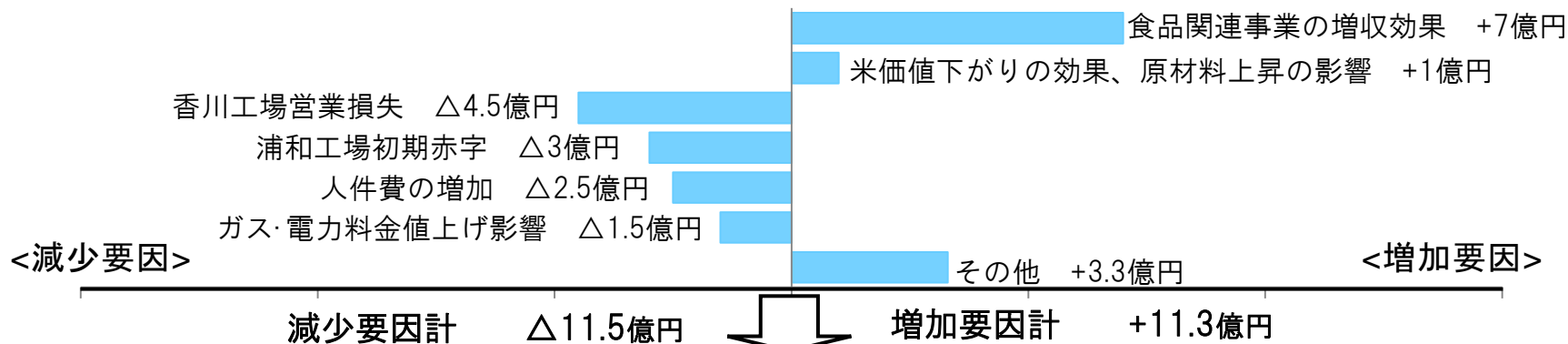
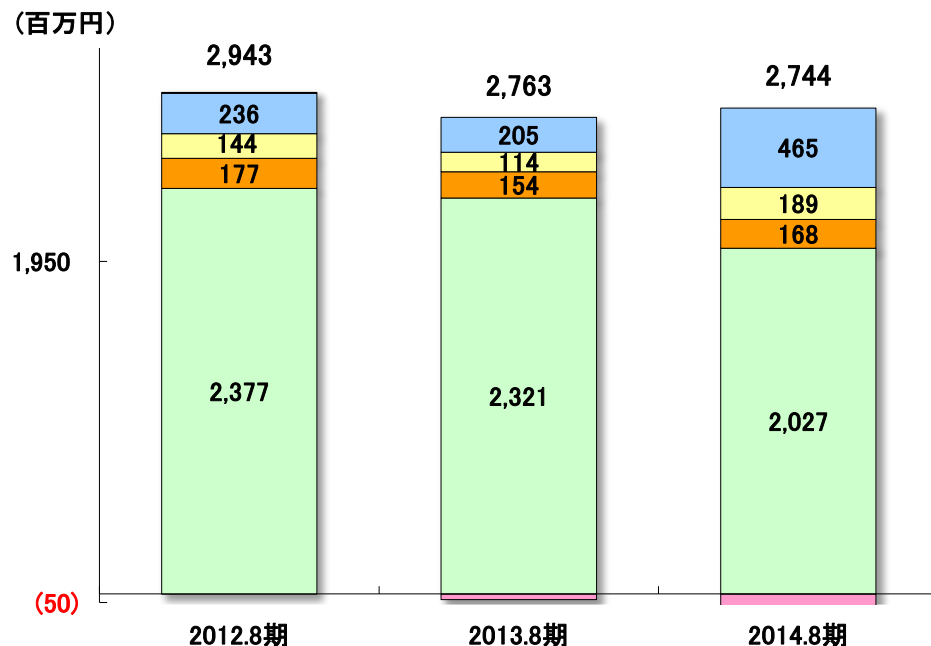
# セグメント別営業利益の状況

■食品関連事業 ■食材関連事業 ■物流関連事業 ■その他の事業 ■消去

(単位:百万円)

	2013.8期	2014.8期	増減
営業利益合計	2,763 (100.0)	2,744 (100.0)	△18 <△0.7>
食品関連事業	2,321 (84.0)	2,027 (73.9)	△293 <△12.6>
食材関連事業	154 (5.6)	168 (6.1)	13 <8.8>
物流関連事業	114 (4.1)	189 (6.9)	75 <66.0>
その他の事業	205 (7.4)	465 (17.0)	260 <126.5>
全社費用・消去	△32 (△1.1)	△106 (△3.9)	△74 <->

\* ( )内は構成比率(%), <>内は増減率(%)



# 営業外損益・特別損益のポイント

(単位：百万円)

	2013.8期	2014.8期	増減
営業利益	2,763 (2.9)	2,744 (2.7)	△18 <△0.7>
営業外損益	153 (0.2)	274 (0.3)	120 <78.3>
経常利益	2,916 (3.1)	3,019 (2.9)	102 <3.5>
特別損益	— (—)	— (—)	— <—>
税金等調整前 四半期純利益	2,916 (3.1)	3,019 (2.9)	102 <3.5>
法人税等合計	1,175 (1.2)	1,242 (1.2)	66 <5.6>
四半期純利益	1,741 (1.8)	1,776 (1.7)	35 <2.1>

増減の主な内訳(利益の影響額)

- 固定資産除却損の減 54
- 助成金収入等の増 30

\* ( )内は売上比率(%) <>内は増減率

# 連結貸借対照表のポイント

(単位：百万円)

【資産】	2014.2期	2014.8期	増減
流動資産	29,044	37,012	7,967
固定資産	42,059	45,124	3,064
(有形固定資産)	(37,768)	(40,681)	(2,913)
(無形固定資産)	(348)	(389)	(40)
(投資その他)	(3,942)	(4,053)	(110)
資産合計	71,104	82,136	11,032

(単位：百万円)

【負債・純資産】	2014.2期	2014.8期	増減
流動負債	22,031	31,672	9,640
固定負債	10,223	10,452	228
(有利子負債)	(9,425)	(9,663)	(238)
負債合計	32,255	42,124	9,869
純資産合計	38,848	40,012	1,163
(資本金)	(8,049)	(8,049)	-
負債・純資産 合計	71,104	82,136	11,032

## 資産合計一約 110億円の増加

- 流動資産(現預金、売上債権等)の増加 : 約79億円
- 固定資産の増加 : 約30億円

## 負債・純資産合計一約110 億円の増加

- 流動負債(未払金、買掛金等)の増加 : 約96億円
- 固定負債の増加 : 約 2億円
- 純資産(利益剰余金、その他の包括利益)の増加 : 約11億円

# 連結キャッシュ・フロー計算書のポイント

(単位：百万円)

	2013.8期	2014.8期	増減
税金等調整前四半期純利益	2,916	3,019	
減価償却費	1,831	2,147	
売上債権の増減額(△は増加)	△4,609	△5,212	
たな卸資産の増減額(△は増加)	289	860	
仕入債務の増減額	2,829	3,745	
未払金の増減額	2,000	2,675	
その他	621	799	
小計	5,879	8,035	
法人税等の支払額	△716	△929	
その他	180	147	
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>5,344</b>	<b>7,252</b>	<b>1,908</b>
有形固定資産の取得による支出	△543	△1,499	
その他	△435	81	
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△979</b>	<b>△1,417</b>	<b>△437</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△832</b>	<b>△1,922</b>	<b>△1,090</b>
<b>現金及び現金同等物の増減額</b>	<b>3,555</b>	<b>3,898</b>	<b>343</b>




# 2015年2月期 修正連結業績予想（通期）

（単位：百万円）

	2014.2期 実績	2015.2期 予想	増減
<b>売上高</b>	186,531 (100.0)	204,000 (100.0)	17,469 <9.4>
<b>営業利益</b>	3,718 (2.0)	4,200 (2.1)	482 <12.9>
<b>経常利益</b>	3,957 (2.1)	4,500 (2.2)	543 <13.7>
<b>当期純利益</b>	2,272 (1.2)	2,450 (1.2)	178 <7.8>
<b>EPS(円)</b>	129.01	139.09	10.08

\* ( ) 内は売上比率 (%)、<>内は増減率 (%)



# 2015年2月期上期総括 及び今後の事業展開

## 連結業績

- 売上高 1,034億円 (前年同期比+9.7%)
  - 営業利益 27億円 (前年同期比△0.7%)
  - 経常利益 30億円 (前年同期比+3.5%)
  - 四半期純利益 17億円 (前年同期比+2.1%)
- ・チルド専用浦和工場稼働 (2014年6月)
  - ・チルド商品が引き続き伸長
  - ・納品エリア拡大(チルド弁当を中国地方へ納品)

## □ グループ理念

私たちは安全・安心と価値ある商品・サービスの提供を通じて、お客様の健康で豊かな食生活に貢献します。

## □ 経営理念

お客様のニーズを追求し、変革を推進します。

コンプライアンスを実践し、透明性の高い経営を行い、社会から信頼される企業を目指します。

人を育て、働きがいのある、環境にやさしい企業を目指します。

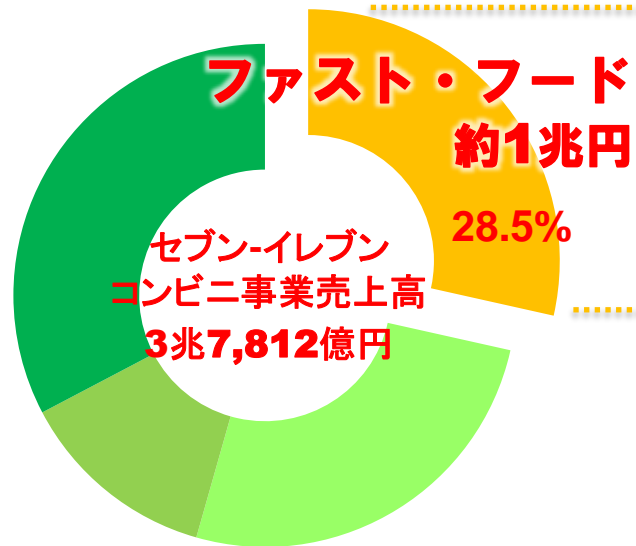
## 【中期重点施策】

① 生産機能の強化

②

③

# 中期重点施策 ①生産機能の強化

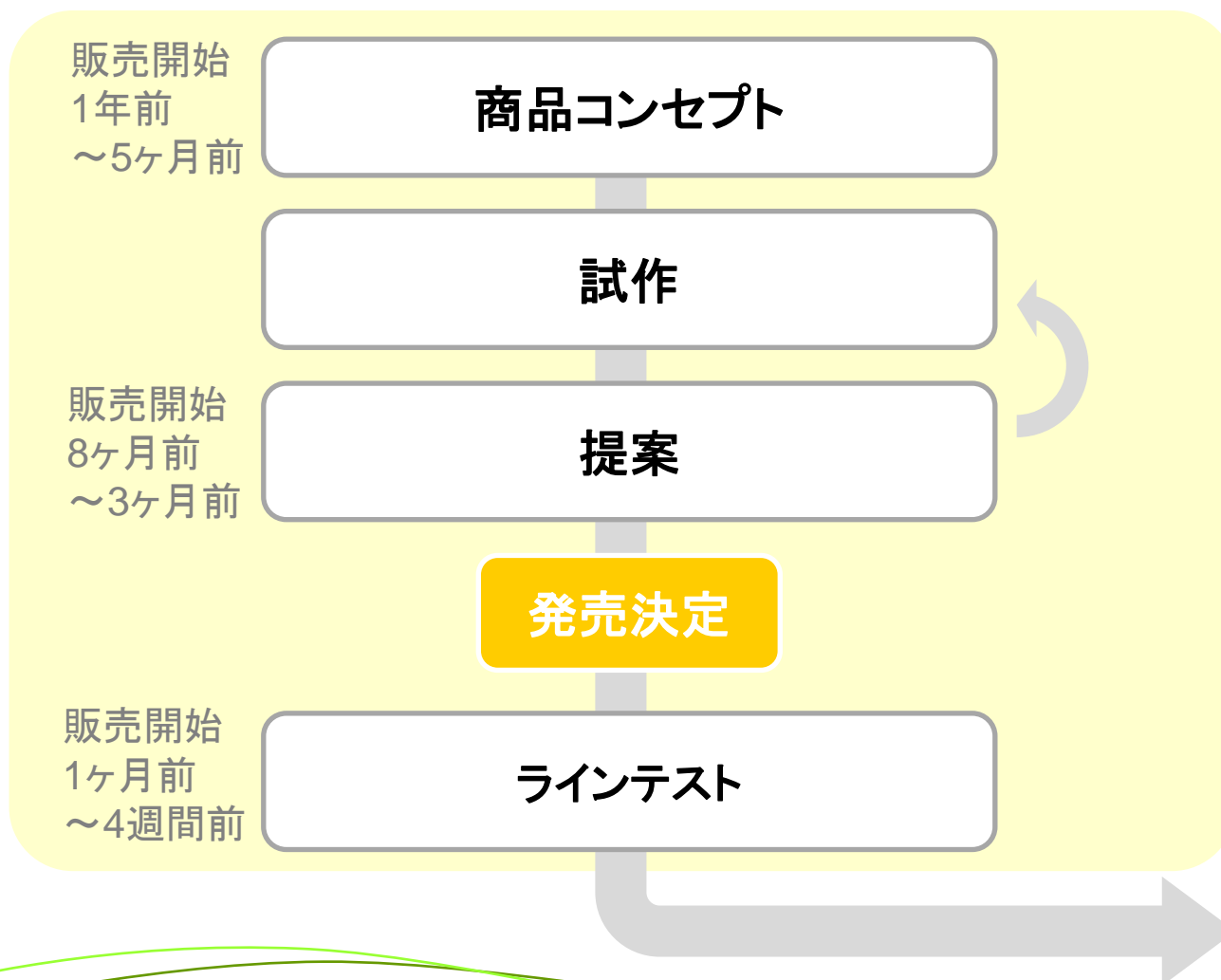


(セブン&アイHLDGS 2014年2月期決算資料より)

コンビニの差別化の重要な要素  
＝商品力



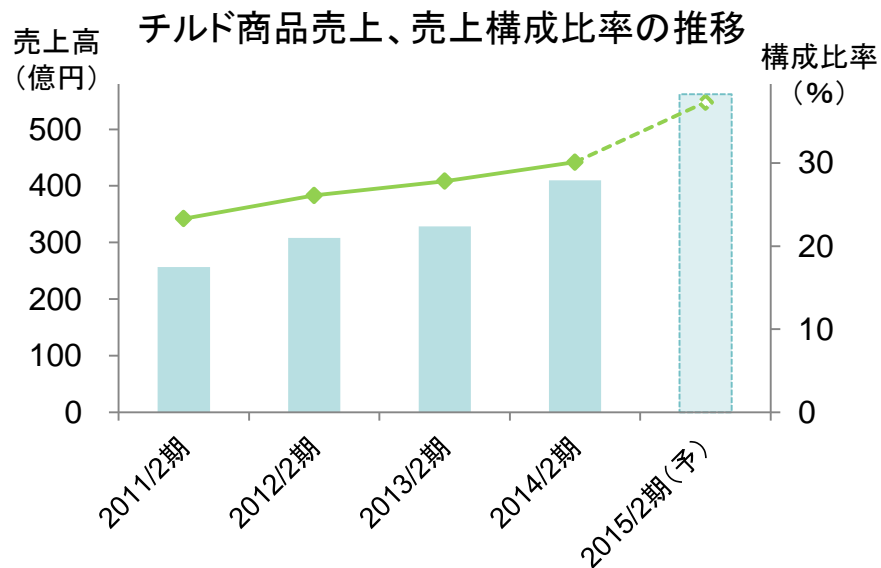
## 商品開発力



(チルド弁当)  
とろとろ玉子の  
ローズかつ丼

## ➤ チルド専用 浦和工場稼働

生産  
技術力



浦和工場

### 【工場概要】

所在地 : 埼玉県さいたま市

生産品目 : チルド商品

生産能力 : 10万食/1日

生産開始 : 2014年6月





# 中期重点施策 ①生産機能の強化

➤ 良品かつ生産効率化の実現を  
可能とする機械化の推進

生産  
技術力

➤ フードディフェンスの取組み

品質・衛生  
管理力

## 【中期重点施策】

① 生産機能の強化

② 成長分野への取り組み

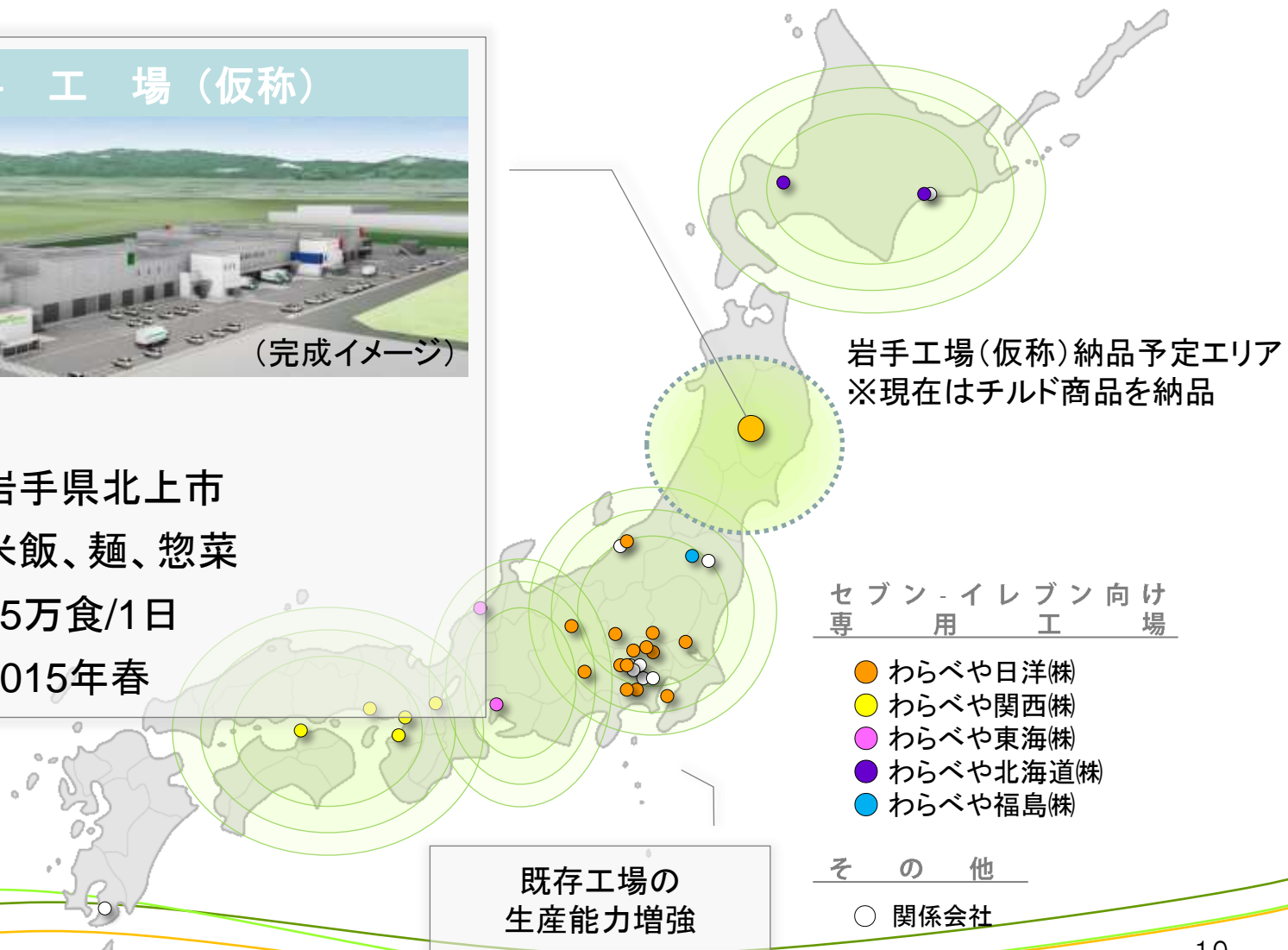
③

## セブン-イレブン事業の拡大に対応した設備投資



### 【工場概要】

所在地 : 岩手県北上市  
生産品目 : 米飯、麺、惣菜  
生産能力 : 25万食/1日  
生産開始 : 2015年春



# 中期重点施策 ②成長分野への取り組み

## ➤ グループ機能の強化



(株)日洋

セブンプレミアム「北海道産鮭の粕漬け焼き」  
カウンターフード「白身魚のフライ」



## ▶海外事業展開

米国

＜WARABEYA USA, Inc.＞

1982年6月設立、  
2009年6月「ママ家」ブランド店舗を開始、現在2店舗

中国

＜北京旺洋食品有限公司＞

2011年2月合弁会社設立、2012年5月工場稼働

＜北京日洋欣榮商貿有限公司＞

2012年12月設立(株日洋の100%子会社)

タイ

＜CP ALL Public Company Ltd.＞

2006年3月以降技術供与を継続

インドネシア

＜Fresh Food Indonesia＞

2014年3月 FFI社に対して、チルドメニューの開発等の技術供与を開始

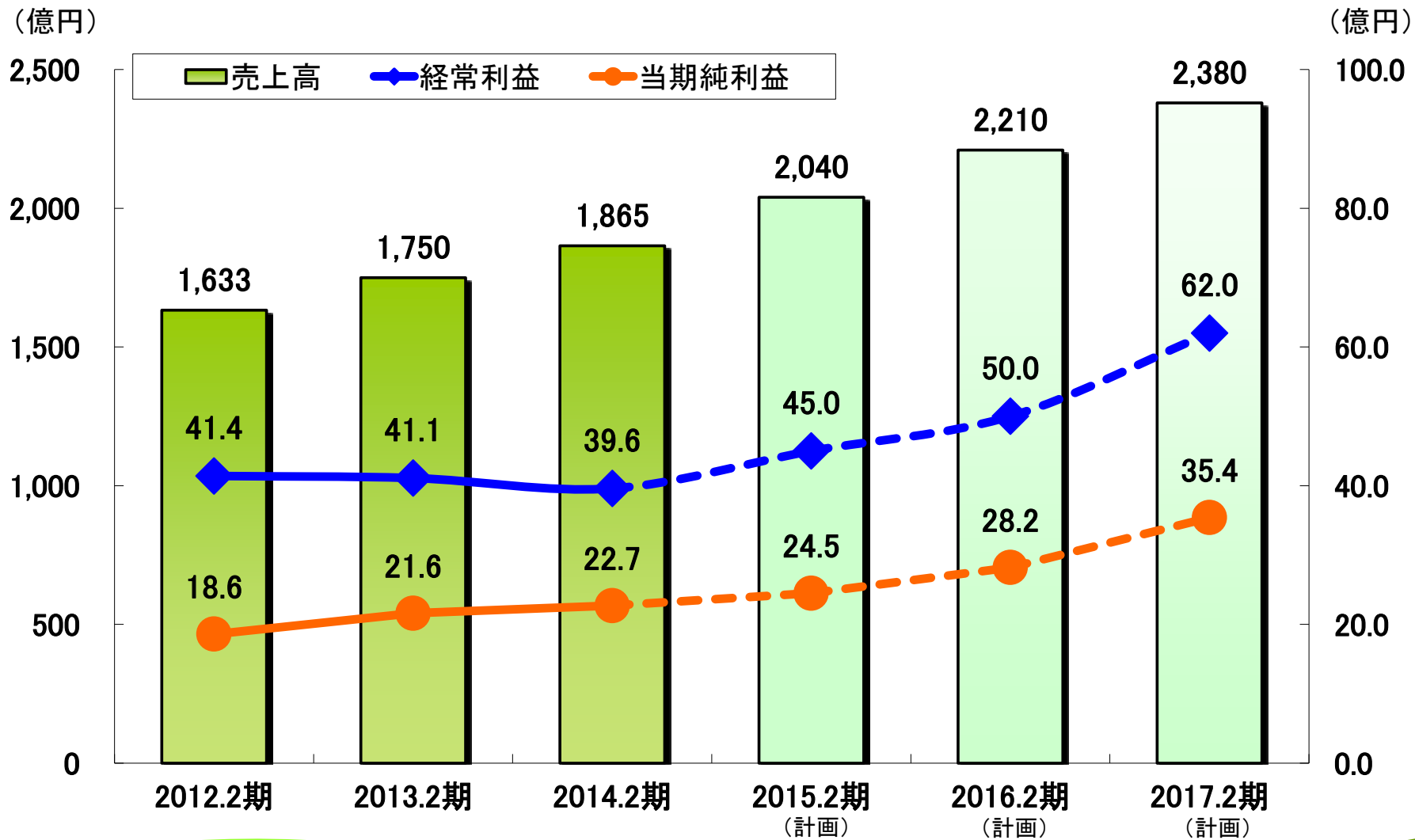
## 【中期重点施策】

- ① 生産機能の強化
- ② 成長分野への取り組み
- ③ 人材の育成と活用**

- 生産機能を担うマネジメント人材の増強
- チャレンジ精神、創造性の高い  
グローバル人材の育成
- コンプライアンスの徹底

# 中期経営計画（連結）

3年後の売上高2,380億円、経常利益60億円以上へ





本資料には、当社の本資料作成時点における計画、見通し、経営戦略および経営方針に基づいた「将来予測に関する記載」が含まれています。この「将来予測に関する記載」には本資料発表時点までに入手可能な情報に基づいた当社の経営判断や前提が述べられており、諸与件の変化により実際の業績が「将来予測に関する記載」とは異なる可能性があります。したがって、本資料における業績予想などの「将来予測に関する記載」が将来にわたって正確であることを保証するものではありません。